



農村伝道神学校後援会だより NO. 101

後援会だより100号発刊に感謝して

第九回卒業生 岩高 澄

“後援会だより”100号おめでとうございます。
実務委員の皆さまのご尽力に敬意を表します。

古川事務局長が100号に記載されている通り、後援会が組織化されたのは、1980年6月のこと、新しい委員名をもって「入会のお願い」を各方面に出したことに始まっています。それまでは、毎年「神学校日」に献金の依頼を各教会、伝道所等にお送りする程度だったかと思えます。

しかし、新発足はしたものの、多忙を極める委員や神学校の実務担当者においては、どんなにかご苦勞のあったことかと思えます。“後援会だより”は5号が1982年7月に発行されて以来、1984年2月の6号まで跳んでいるのです。その間に何があったのか、大阪在住の私に事務局長の依頼があり、なんと事務局を大阪に移すと言う出来事があったのです。その辺の経緯については後述するとして、第6号に記載させていただいている、私の事務局長就任の挨拶文をご紹介しますことと致します。

* * * *

私にどれほどのことができるか、自信はありませんが、少しでも母校のためにお役に立てればと思ひ、事務局を担当させていただく決心をしました。

農村伝道神学校は、諸教会に伝道者を送り出す伝道者の養成機関でありますから、いわば教会のための学校であります。

諸教会の支えなくしては経営的にも全く成り立ちようのない学校であり、とくに農村伝道神学校は国からは勿論、その他何らの助成金を受けていない学校です。その経営は、自己の持つ基金と、教会や有志の祈りと献金によって成り立っています。

また、農村伝道神学校の持つ意義を理解する方々の手によって支えられております。しかし、現実には基金をさえ食い潰さねばならないような経営内容です。一所懸命母校を支え、頑張っていて下さる理事や先生方の努力に応えるためにも、できる限りで後援会のお世話をさせていただこうと思っています。何よりもまず後援会員の方々との連絡を密にすると共に、ご支援下さる方々を広げべく、趣旨を訴えて入会者の獲得に努力したと願っています。今後のご協力を宜しくお願い致します。

* * * *

1983年夏のことでした。当時神学校で教務の責



筆者近影

任を負っておられた下田洋一先生が私を訪ねて来られました。そして、「後援会の事務局を引き受けてくれないか」と言われるのです。

私は即座に申しました。「一寸待って下さいよ、私は平日郵便局長をしていて(訳あって当時特定郵便局長をしておりました)東梅田教会の担当教師として、主日や祈祷会等の働きも負っているのですよ、しかも神学校は東京に在り、私は大阪に住んでいるのです。気持ちとしては何とか協力したい思いですけど、どう考えても無理なことでしょう。」いろいろ押し問答をした挙句、「では後援会も終りだな」と言われるのです。

それでは「NO」と言う返事は無いということですか、「その通りです。」この強引な申し出に、一晩考えさせて下さいと申し上げ、祈って考えたのですが、その時何故かこの様に言われる神の声を聞いた思いがしたのです。「これがお前の農村伝道だ」思えば事情あってのこととは言え、都会に戻り、郵便局長を兼ねると言うことで、同窓生の手前、後ろめたさのようなものを感じていましたので、お引き受けすることと致しました。

幸、経理に協力して下さる方を得て、事務的なことでは何とか歩み始めたのですが、後援会員の拡大には何とも手が出ず、そこで考えたのは“日毎の糧”で覚える諸教会、伝道所に、「農村伝道神学校後援会」の名前で、「はがき」を書かせてもらおうと思ったのです。

どれ程の効果があつたかは、わかりませんが、返礼のお便りをいただく等、少しは覚えていただけたかなと思っています。

以前にも増して経営が厳しくなっている今、後援会のご努力には何時も感謝しています。それにも増して地方の教会からは、教師を求める声が高まっています。

神学校の働きが、更に祝福されますようにと、祈りつつこれからも協力して参りたいと願っています。

(現在大阪在住 無任所教師)

【お支え下さる皆様と学校をつなげて100号！の続きとして「あゆみ」を振り返りました。】

大きなお支えを頂き、時々のご示唆を得て
学校を支える後援会は大きく育ちました。

これからも、農村伝道神学の大きな支えの
木となります。どうぞお覚え下さい。



新米実務委員です！

「この春から畑の授業を受けます」と少し年上の友人にお便りしたら、
とっても喜んでくれたのが昨年のことです。こうして一年間、池迫先生「農業実習」の聴講生になりま
した。冬を越し固くなった土を掘り起こし耕し、ふかふかとした土に触れて苗床作り、種まき、苗を育
て、畝を起すのも初めてでした。お茶畑の盛大な草取り、広大なグラウンドの落ち葉掃きと畑へ運び
堆肥作り、枇杷や桑の木の剪定。そして椎茸・ナメコ栽培、それもクヌギ・コナラを切る原木作りから
経験できました。黄金色の落ち葉の山で「プールみたい！」「暖かいー」というシオン幼稚園の子ども
たちの歓声を聞いて何日かたつての落ち葉掃きなど、四季の流れを感じる事が数多くありました。3
時間余の実習でお茶のあとは、残飯を畑のコンポストに運び堆肥化を体験できま
した。ヨモギを摘んで草団子作りからキムチ漬け込みまで、神学生たちといっし
よに働けるのも大きな喜びです。鶴川に住み、農伝の特別講座やシンポジウムを
受けて、魅力ある講座、授業に恵まれていることに気づいてまだ三年です。多く
の先輩たちから「わたしは聴講生」というお話が伺いたいと思っています。今年
5月から後援会実務委員に加わらせていただきました。農伝での経験が浅いだけ
に、皆さまからたくさん教えてほしいと願っています。どうぞお声をかけてくだ
さい。



後援会実務委員 長谷川りゑ子

筆者

後援会献金をよろしくお願ひします

小海 基（後援会実務委員 荻窪教会牧師）

とても残念な報告です。後援会としてはこの10年間ずっと「学校献金が何とか1千万円を超える」ことを目標に、皆様に「ひとつぶ献金」拡大を呼びかけたり、グッズ開発を行ったり…、と頑張ってきたのですが、2014年度は980万円とわずかながら1千万円を割り込んでしまいました。

下の「近年(この10年間)の献金推移」のグラフをご覧ください。2011年を境にガクンと学校献金額が落ち込んでいます。原因は、当然のことながら未曾有の出来事であった2011年の「3・11東日本大震災」と直後の原発事故支援の方に全国の募金が集中したことによるものと思われまふ。この現象は決して農伝の後援会献金ばかりのことではないのですが、募金を必要とする他の諸団体と同様、厳しい結果となっています。14年度の途中までの募金状況は好調で、震災以前の「学校献金1200万円台回復」が達成できるのではないかと楽観視さえしていただけに、後半期の予想外の伸び悩みは実務委員会にとっても二重のショックです。

このため後援会としては今年度、今号にご紹介がありますように新たな信徒実務委員が増員

しました。

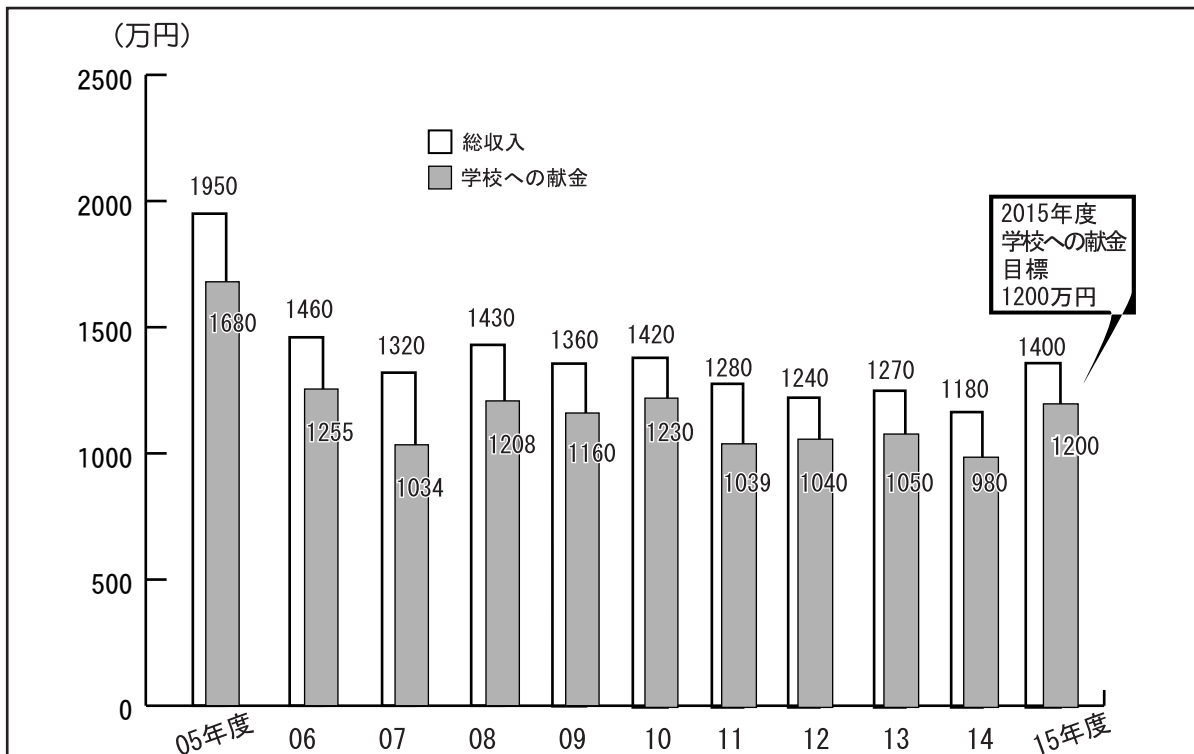
また5月には、日野台教会で「1日農伝デー」の開催(次号で報告)を頂きました。年度後半には関東で「農伝支援コンサート」を企画して、皆様に年度の募金状況を報告し、支援の輪をさらに広げていきたいと考えています。東京郊外の山の上に立つ神学校ですので、ご支援くださる皆様が訪れてくださる機会もなかなか設けにくい現状ですが、むしろこちらから積極的に出向いて呼びかける機会を持っていないものかと模索しています。皆様も積極的に声をかけていただけますと幸いです。

この10年、献身者数は安定して与えられており、神学校教育も順調な歩みを刻んでいます。新校舎も有効に用いられており、前号で高柳校長も書いていたように、「新カリキュラム」によって更なる神学教育を展開していこうと新たな展望も計画中です。これも皆様が変わらないご後援、ご支援の賜物と感謝します。

ぜひ皆様にも積極的に神学校支援の輪を広げる働きに参加して下さい、困難な時代のただ中で全国の地方教区隅々にまで牧者をそだて送り出す農村伝道神学校の働きへのご理解、ご協力をお願いいたします。

2015年度はグラフにありますように「献金総額1400万円、学校献金1200万円」を目標に掲げていますお祈り、ご協力お願いします。

近年の献金推移



農村伝道神学校後援会会計報告

2015年3月1日～5月31日 () 内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	金額	560,118	竹村 倫子	10,000	江刺教会	5,000	合計34件	前地 洋美	5,000	
愛川伝道所	5,000		田中 暉彦	4,000	大阪福島教会	3,000	金額	342,000	丸山 是	2,000
生田教会カナの会	5,000		田中和三郎	10,000	大島教会	5,000			三原 仁子	10,000
石津教会	50,200		戸田 伊助	3,000	大船教会	5,000			三輪 清子	3,000
草津教会	5,000		豊田 江美	100,000	亀戸教会	10,000			村上 和	10,000
串木野教会	5,000		二川 敏子	3,000	川和教会	10,000			谷津 横子	5,000
信濃町教会ぶどうの会	30,000		野末 三郎	2,000	京都丸田町教会	5,000			柳川 進平	5,000
城西教会事業部	17,000		挟間 新一	10,000	高座渋谷教会	5,000			山口のぶえ	1,000
住道一粒教会	10,000		八田満千子	5,000	小牧教会	2,000			山田 裕	2,000
代田教会	10,000		服部 道子	5,000	埼玉新生教会	10,000			吉田 勲	2,000
鶴川シオン幼稚園クローバーの会バザー	250,000		服部千賀子	5,000	さまりや人伝道所	30,000			渡辺 重義	10,000
鶴川シオン幼稚園卒業対策委員会	17,418		林 博	5,000	下谷教会	35,000			合計41件	
日本基督教団中部教区石川地区婦人会連合	17,500		原 誠	5,000	信濃町教会聖和会	10,000			金額	204,000
能登川教会	5,000		比企 敦子	5,000	下落合教会	3,000			ひとつぶ献金	
東長崎ウエスレー教会	5,000		土方満喜子	5,000	十二使徒教会	10,000			生田教会	32,400
日向新生協会	2,000		福島 道子	50,000	日本福音ルーテル湯河原	10,000			荻窪教会	85,600
学校法人福井栄冠学園	10,000		松本 朝子	3,000	福音教会	3,000			上大岡教会	12,000
福岡渡辺教会	30,000		山崎 節子	500,000	久が原教会	5,000			軽井沢追分教会	14,200
本多記念教会	10,000		山崎 節子	500,000	聖ヶ丘教会	20,000			須藤 保	5,000
松本筑摩野伝道所	2,000		山鹿昭明・文子	3,000	広島南部教会	2,000			高島 昭子	2,000
丸岡栄光学園緑幼稚園	4,000		山城 節子	3,000	福岡女学院教会	5,000			田中 暉彦	2,000
見附教会	5,000		吉川 彪	5,000	本所緑星教会	10,000			津村有紀子	5,000
八重山中央教会	30,000		吉沼紀美代	10,000	松山教会	10,000			土井 道子	3,000
竜ヶ崎教会	5,000		渡辺志津枝	53,200	水口教会	4,000			中井 靖子	10,000
六角橋教会	30,000		合計59件		溝ノ口教会	10,000			中野百合子	1,000
合計24件			金額	1,097,700	むさし小山教会	5,000			中屋敷恵美子	3,000
					明治学院教会	30,000			西村興子・博美	15,000
					明治学院中学校東村山				長谷川三和	2,000
					高等学校	30,000			早川三南子	5,000
					ユウカリが丘教会	5,000			福島 明美	3,000
					弓町本郷教会	10,000			福本 光子	10,000
									星野 昌子	10,000

事務局だより

関東甲信まで梅雨入りとのこと、皆様にとって程よい雨でありますよう祈ります。

幸い農伝では木々も作物も恵みの雨に日々成長しています。やがて例年の如く、作物は草々に先を越されその姿を見失います。しかし農場委員会の植えた栗畑のブルーベリー、柑橘類は確実に実を付け、農場の大きなクルミの木には梅の実のような実が鈴なりです。また農場中央にあるビワの木には今年特に甘い実が付き、鳥と人との争奪戦になりました。幸い多勢の学生が若干勝利し、収穫したかなり小振りなビワの実が初めて学校での販売

となりました。ビワの実が聴講生、講師、教師、たまたま訪れたお客様に、里山のお土産としてお買い求め頂きました。また昨年、本校とお交わりをしておりました「畑の家」より、ラベンダーを60株ほど頂き(運搬移植つき)ました。いま、どの株からも穂先がツンと伸び、2～3本紫の花が咲き始めました。きっとこの梅雨の空ける前に満開になるのではないのでしょうか。この里山で人が立ち止り、行き交っています。後援会も101号を機に新たな歩を進めて参ります。農村伝道神学校をどうぞお支え下さい。

2014年度会計を感謝して報告致します。

2014年度農村伝道神学校後援会会計報告

2014年4月1日～2015年3月31日

費 目	収入の部 (単位：円)		前年度		費 目	支出の部 (単位：円)		前年度
	2014年度	前年度	2014年度	前年度				
	件数	金額	件数	金額		2014年度	前年度	
後援会費 (団体)	110	1,805,518	92	1,264,800	神学校献金	9,800,000	10,500,000	
〃 (個人)	215	2,373,500	227	1,838,440	通信費	584,781	590,155	
記念日献金 (団体)	292	3,691,357	309	3,973,200	印刷費	421,814	444,030	
〃 (個人)	245	1,692,500	252	3,380,800	事務費	413,540	370,238	
ひとつぶ献金	50	1,270,067	38	1,344,075	グッズ材料費	69,458	32,335	
グッズ他	-	263,650	-	318,200	その他	56,355	32,753	
繰越金	-	638,834	-	590,713	振替手数料	98,404	101,890	
合 計	912	11,735,426	918	12,710,228	繰越金	291,074	638,827	
					合 計	11,735,426	12,710,228	

発行 農村伝道神学校後援会 会長 島しづ子 事務局長 古川力也
 〒195-0063 東京都町田市野津田町2024 ■TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
 Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp ■ホームページ: http://www.noden.server-shared.com ■振替番号 00120-6-24418